

# これまでの議論を踏まえた論点整理

論点1. 大都市圏の位置付けについて

論点2. 国際競争力の評価について

論点3. 大都市圏戦略の内容について

論点4. 大都市圏戦略の策定について

論点5. 大都市圏戦略の実施について

# 論点1. 大都市圏の位置付けについて

- 国際競争力の強化という観点から、戦略の対象とすべき大都市圏の範囲をどのように考えていくべきか。大都市圏の特性としてどのような点に着目する必要があるか。
  - 既存の人口・産業の集積の状況、国際的・広域的インフラの整備状況
  - マーケットの規模
  - 一の都道府県を越える広域的な圏域としてのまとめり
- 大都市圏への「選択と集中」を進めることについて、客観的データを含めた考え方・利点の整理、その実現のための政策の方向付けが重要ではないか。
- 戦略の対象とする大都市圏について、各圏域を相対的な関係で捉えることを重視するか、圏域としての求心力、まとめりを重視するか。また、大都市圏相互の連携・分担のあり方について、どのような観点から国の考え方を示すべきか。その際に重要となるべき事項は何か。

## 論点2. 国際競争力の評価について

- 大都市圏の国際競争力を評価するにあたって重視すべき要素は何か。
- 各大都市圏の個性や魅力等に応じ、圏域ごとに異なる指標の設定も想定すべきか、もしくは、各大都市圏の国際競争力の指標が比較可能となるよう統一指標とすべきか。
- 国際競争力をはかる指標は、総合指標とすべきか、テーマ毎の指標とすべきか。

# 論点3. 大都市圏戦略の内容について

- 大都市圏戦略に盛り込むべき内容としてどのような事項を重視すべきか。
  - 国際・広域インフラの整備
  - グローバル企業や高度人材等の誘致
  - 圏域としての特色・強みの強化、求心力の向上
- 国際競争力の強化を重視した戦略として、既存の大都市圏整備計画等の圏域計画と比較して、どのような役割を持たせることが重要か。
  - 新しく追加すべき内容
  - 記述の詳細化を図るべき内容
  - 記載事項の絞り込み
- 大都市圏戦略は、幅広い内容を対象とする総合計画とすべきか。もしくは、重点的に対応すべき事項に限定した計画とすべきか。

# 論点4. 大都市圏戦略の策定について

- 大都市圏戦略は、国が国家戦略として策定すべき部分と、地域(地方・民間)の自主性を尊重すべき部分があるが、どのような役割分担を図るべきか。
  - 国家戦略として国のリーダーシップを強化する方向で整理
  - 地域主権の観点を踏まえ、地域の自主性を最大限尊重する方向で整理
- 国、地方公共団体、民間が一体となって戦略を作り上げていくためのプロセスとしてどのような手法が適切か。
  - 官と民の双方が参画した広域的な協議会を設置する仕組み
  - 国が地方公共団体や民間の意向を受け入れる仕組み
- 民間の意向、ニーズを反映するためには、計画策定・推進の過程で、どのような主体(企業、経済団体、商工会議所等)がどのように関与していくことが適切か。

# 論点5. 大都市圏戦略の実施について

- 大都市圏戦略の実施にあたって重要な視点は何か。
  - 国際・広域インフラの整備方針の明確化
  - 選択と集中による拠点形成・機能集約
  - 圏域の総合的な魅力の向上
  - 国内外に向けたIR戦略
- 戦略の実効性を高めるため、どのような措置が求められるか。
- 戦略に位置付けた事項を具体化する上で、関係主体間の広域的な連携や調整を効果的に促す仕組みが重要ではないか。具体的にどのような手法が考えられるか。
- 大都市圏戦略の進捗管理は、誰がどのように行うべきか。
  - 大都市圏戦略の実施状況
  - 大都市圏戦略の目標の達成状況